

平成31年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学1年 理科
教科担当	照屋 寛和
教科書名	新しい科学 1
副教材名	理科ノート 理科の学習

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中生徒のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。  
球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日目標が達成できたかのもとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。  
生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。  
教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 ○○科の学習について

学習のねらい	(1) 自然の事物・現象に関心を持って取り組める。 (2) 目的意識をもって実験・観察に取り組み、正しい技術を身につける。 (3) 科学的な見方や考え方を養う。 (4) 自然の事物・現象についての理解を深める。
授業のすすめ方	(1) 自然の事物・現象に関心を持って取り組める。 (2) 目的意識をもって実験・観察に取り組み、正しい技術を身につける。 (3) 科学的な見方や考え方を養う。 (4) 自然の事物・現象についての理解を深める。
学習上の留意点	(1) 基本的な事項を「理解」して覚える。【気づいたことはメモをとる】 (2) 常に「なぜそうなっているのか？」を考える。 (3) 実験では結果をしっかりと記録し、その結果をもとに自分なりの考えを書きましょう。 (4) 実験には危険を伴うことがあります。注意事項はしっかりと聞きましょう。 (5) 間違うことを恐れず自分なりの考えを工夫しながら積極的に書くこと。

2 評価について

評価方法	<input type="checkbox"/> 成績は、毎学期の定期テストや単元テストの得点、授業中の作業・問答・態度、各種提出物などを総合して評価します。 <input type="checkbox"/> 評価の観点は、「自然事象への関心・意欲・態度」、「科学的思考」、「観察・実験の技能・表現」、「自然事象についての知識・理解」です。 <input type="checkbox"/> 長期休業（夏期・冬期・春期など）を中心に課題を出します。
定期テスト	<input type="checkbox"/> 授業で扱った事項、および試験前に指定した範囲から出題されます。 <input type="checkbox"/> 試験範囲は、定期テスト1週間前までに発表します。 <input type="checkbox"/> 各テストでは毎回、実験の注意事項も出します。普段の実験から確認しておきましょう。 <input type="checkbox"/> 2020年度（予定）から始まる新大学入試に向けた思考力・判断力を問う問題を出題します（10%程度）

### 3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 教科ガイダンス ※教科シラバスを用いて学習内容や評価方法について説明する。	理科シラバス 町標準学力調査
5月	単元1 「植物の世界植物の生活とからだのしくみ」 1章 花のつくりとはたらき 2章 葉、茎、根のつくりとはたらき 3章 植物の分類 webテスト	1学期末テスト
6月		夏休みの宿題（自由研究）
7月	単元2 「身のまわりの物質」 1章 身のまわりの物質とその性質 2章 気体の性質 3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたと状態変化 webテスト	実力テスト
8月		
9月		2学期中間テスト
10月	単元3 「身のまわりの現象」 1章 光の世界 2章 音の世界 3章 力の世界 webテスト	2学期末テスト
11月		学年末テスト
12月	単元4 「大地の変化」 1章 火をふく大地 2章 動き続ける大地 3章 地層から読み取る大地の変化 webテスト	
1月		
2月		
3月		

### 4 授業をうける心構え

- ・チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。
- ・質問や問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げます。（無言挙手）
- ・わかったことや、自分の考えを積極的に発表しましょう。
- ・わからないことを教えあったり、みんなの意見を聞いて考えを深めるなど、他の人とも協力して学習に取り組みましょう。
- ・ノートは黒板に書かれたことと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめましょう。
- ・ノートやワークなどの提出物は期日を守りましょう。

### 5 家庭学習のアドバイス

- ・学習したことは、その日のうちに復習しましょう。
- ・教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、重要語句の意味や漢字がしっかりわかり、かけるようになっておくといいでしょう。
- ・ポイントは声に出して、書いて覚えましょう。
- ・テストで間違えた問題は必ず復習しましょう。

平成31年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学2年 理科
教科担当	照屋 寛和
教科書名	新しい科学 2
副教材名	理科ノート 理科の学習

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中生徒のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。  
球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。  
生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動（思考・判断・表現等）」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力（＝学びに向かう力）」を育成することにつながります。  
教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 ○○科の学習について

学習のねらい	(1) 自然の事物・現象に関心を持って取り組める。 (2) 目的意識をもって実験・観察に取り組み、正しい技術を身につける。 (3) 科学的な見方や考え方を養う。 (4) 自然の事物・現象についての理解を深める。
授業のすすめ方	(1) 自然の事物・現象に関心を持って取り組める。 (2) 目的意識をもって実験・観察に取り組み、正しい技術を身につける。 (3) 科学的な見方や考え方を養う。 (4) 自然の事物・現象についての理解を深める。
学習上の留意点	(1) 基本的な事項を「理解」して覚える。【気づいたことはメモをとる】 (2) 常に「なぜそうなっているのか？」を考える。 (3) 実験では結果をしっかりと記録し、その結果をもとに自分なりの考えを書きましょう。 (4) 実験には危険を伴うことがあります。注意事項はしっかりと聞きましょう。 (5) 間違うことを恐れず自分なりの考えを工夫しながら積極的に書くこと。

2 評価について

評価方法	<input type="checkbox"/> 成績は、毎学期の定期テストや単元テストの得点、授業中の作業・問答・態度、各種提出物などを総合して評価します。 <input type="checkbox"/> 評価の観点は、「自然事象への関心・意欲・態度」、「科学的思考」、「観察・実験の技能・表現」、「自然事象についての知識・理解」です。 <input type="checkbox"/> 長期休業（夏期・冬期・春期など）を中心に課題を出します。
定期テスト	<input type="checkbox"/> 授業で扱った事項、および試験前に指定した範囲から出題されます。 <input type="checkbox"/> 試験範囲は、定期テスト1週間前までに発表します。 <input type="checkbox"/> 各テストでは毎回、実験の注意事項も出します。普段の実験から確認しておきましょう。 <input type="checkbox"/> 2020年度（予定）から始まる新大学入試に向けた思考力・判断力を問う問題を出題します（10%程度）

### 3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等	
4月	第1時 ガイダンス ※シラバスを用いて学習内容や評価について説明する。	理科シラバス 町標準学力調査	
5月	単元1 「化学変化と原子・分子」 1章 物質のなり立ち 2章 物質どうしの化学変化 3章 酸素がかかわる化学変化	1 学期末テスト	
6月	4章 化学変化と物質の質量 5章 化学変化とその利用 web テスト		
7月			
8月	単元2 「動物の生活と生物の変遷」 1章 生物と細胞		夏休みの宿題
9月	2章 動物のからだのつくりとはたらき 3章 動物の分類 4章 生物の変遷と進化 web テスト		実力テスト
10月		2学期中間テスト	
11月	単元3 「天気とその変化」 1章 気象観測と雲のでき方 2章 前線とそのまわりの天気の変化 3章 大気の動きと日本の天気 web テスト	2学期末テスト	
12月		学年末テスト	
1月			
2月	単元4 「電気の世界」 1章 静電気と電流 2章 電流の性質 3章 電流と磁界 web テスト		
3月			

### 4 授業をうける心構え

- ・チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。
- ・質問や問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げます。(無言挙手)
- ・わかったことや、自分の考えを積極的に発表しましょう。
- ・わからないことを教えあったり、みんなの意見を聞いて考えを深めるなど、他の人とも協力して学習に取り組みましょう。
- ・ノートは黒板に書かれたことと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめましょう。
- ・ノートやワークなどの提出物は期日を守りましょう。

### 5 家庭学習のアドバイス

- ・学習したことは、その日のうちに復習しましょう。
- ・教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、重要語句の意味や漢字がしっかりわかり、かけるようになっておくといいいでしょう。
- ・ポイントは声に出して、書いて覚えましょう。
- ・テストで間違えた問題は必ず復習しましょう。

平成31年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学3年 理科
教科担当	照屋 寛和
教科書名	新しい科学 3
副教材名	理科ノート 理科の学習

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中生徒のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。  
球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。  
生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動（思考・判断・表現等）」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力（＝学びに向かう力）」を育成することにつながります。  
教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 ○○科の学習について

学習のねらい	(1) 自然の事物・現象に関心を持って取り組める。 (2) 目的意識をもって実験・観察に取り組み、正しい技術を身につける。 (3) 科学的な見方や考え方を養う。 (4) 自然の事物・現象についての理解を深める。
授業のすすめ方	(1) 自然の事物・現象に関心を持って取り組める。 (2) 目的意識をもって実験・観察に取り組み、正しい技術を身につける。 (3) 科学的な見方や考え方を養う。 (4) 自然の事物・現象についての理解を深める。
学習上の留意点	(1) 基本的な事項を「理解」して覚える。【気づいたことはメモをとる】 (2) 常に「なぜそうになっているのか？」を考える。 (3) 実験では結果をしっかりと記録し、その結果をもとに自分なりの考えを書きましょう。 (4) 実験には危険を伴うことがあります。注意事項はしっかりと聞きましょう。 (5) 間違ふことを恐れず自分なりの考えを工夫しながら積極的に書くこと。

2 評価について

評価方法	<input type="checkbox"/> 成績は、毎学期の定期テストや単元テストの得点、授業中の作業・問答・態度、各種提出物などを総合して評価します。 <input type="checkbox"/> 評価の観点は、「自然事象への関心・意欲・態度」、「科学的思考」、「観察・実験の技能・表現」、「自然事象についての知識・理解」です。 <input type="checkbox"/> 長期休業（夏期・冬期・春期など）を中心に課題を出します。
定期テスト	<input type="checkbox"/> 授業で扱った事項、および試験前に指定した範囲から出題されます。 <input type="checkbox"/> 試験範囲は、定期テスト1週間前までに発表します。 <input type="checkbox"/> 各テストでは毎回、実験の注意事項も出します。普段の実験から確認しておきましょう。 <input type="checkbox"/> 2020年度（予定）から始まる新大学入試に向けた思考力・判断力を問う問題を出題します（10%程度）

### 3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 ガイダンス ※シラバスを用いて学習内容や評価について説明する。	理科シラバス 町標準学力調査
5月	単元2「生命の連続性」 1章 生物の成長と生殖 2章 遺伝の規則性と遺伝子	1学期末テスト
6月	webテスト	
7月	単元3「運動とエネルギー」 1章 物体のいろいろな運動 2章 力の規則性 3章 エネルギーと仕事	夏休みの宿題
8月	webテスト	
9月	単元4「地球と宇宙」 1章 宇宙の広がり 2章 地球の運動と天体の動き 3章 地層から読み取る大地	実力テスト
10月	webテスト	
11月	単元1「化学変化とイオン」 1章 水溶液とイオン 2章 化学変化と電池 3章 酸、アルカリとイオン	2学期中間テスト 2学期末テスト
12月	webテスト	
1月	単元5「地球と私たちの未来のために」 1章 自然のなかの生物 2章 自然環境の調査と保全 3章 自然の恵みと災害 4章 科学技術と人間 終章 持続可能な社会をつくるために	学年末テスト
2月	webテスト	
3月	webテスト	

### 4 授業をうける心構え

- ・チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。
- ・質問や問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げます。(無言挙手)
- ・わかったことや、自分の考えを積極的に発表しましょう。
- ・わからないことを教えあったり、みんなの意見を聞いて考えを深めるなど、他の人とも協力して学習に取り組みましょう。
- ・ノートは黒板に書かれたことと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめましょう。
- ・ノートやワークなどの提出物は期日を守りましょう。

### 5 家庭学習のアドバイス

- ・学習したことは、その日のうちに復習しましょう。
- ・教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、重要語句の意味や漢字がしっかりわかり、かけるようになっておくといいでしょ。
- ・ポイントは声に出して、書いて覚えましょう。
- ・テストで間違えた問題は必ず復習しましょう。